



平成 29 年 5 月 1 日

各 位

会社名 株式会社テグ・ウェスタン・セラビ° テクス研究所
代表者名 代表取締役社長 日高 有一
(コード番号:4576)
問合せ先 取締役総務管理部長 川上 哲也
TEL 052-218-8785

事業譲受完了に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 1 月 31 日付「事業譲受契約締結に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、株式会社ヘリオス（本社：東京、代表取締役社長：鍵本忠尚氏）の BBG250 を含有する眼科手術補助剤にかかる事業に関し、平成 29 年 4 月 30 日に当社への事業の譲り受けが完了いたしましたので、お知らせいたします。

なお、事業譲受完了に伴い、本開発品は、当社開発コード「DW-1002」といたします。

1. 事業譲受の概要

(1) 譲受事業の内容

BBG250 を含有する眼科手術補助剤にかかる事業

BBG250 について

国立大学法人九州大学の研究グループが発見した BBG250 (Brilliant Blue G-250) という染色性の高い色素を主成分とした眼科手術補助剤を、株式会社産学連携機構九州からの独占的ライセンスに基づき開発しております。

上記の眼科手術補助剤に関する日本以外の全世界向けの独占的なサブライセンスを Dutch Ophthalmic Research Center International B.V. (以下、「DORC 社」) に付与しており、DORC 社は、平成 22 年 9 月から欧州等において、この眼科手術補助剤を製造・販売しております。この製品は、BBG250 の高い染色性を利用して、眼内にある内境界膜を安全に染色し、眼科手術における内境界膜剥離を行いやすくするものです。

一方、日本国内については、わかもと製薬株式会社 (以下、「わかもと製薬」) に眼科手術用途の内境界膜染色についての独占的サブライセンスを付与しており、わかもと製薬が製造販売承認の取得に向けて開発を進めております。

BBG250 にかかる各開発品の現時点での進捗は以下のとおりです。

開発コード	適応症	市場	開発段階	進捗状況
DW-1002	硝子体手術	日本	第Ⅲ相臨床試験	わかもと製薬にて開発中
	白内障手術	日本	第Ⅱ相臨床試験	ライセンス先決定後、速やかに開発を進める
	内境界膜剥離	欧州	上市	販売中
	内境界膜剥離	米国	第Ⅲ相臨床試験	DORC 社にて開発中

(2) 譲受事業の資産、負債の項目及び金額
譲り受ける資産及び負債はありません。

(3) 譲受価額及び決済方法

①譲受価額：1,300百万円

なお、開発や導出の進展等に伴い、マイルストーンの支払いが発生する可能性があります。

②決済方法：現金決済

手元資金及び一部借入により充当いたします。

2. 会計処理の概要

現在、精査中でありますので、確定次第お知らせいたします。

3. 日 程

(1) 取締役会決議日	平成29年1月31日
(2) 契約締結日	平成29年1月31日
(3) 事業譲受日	平成29年4月30日

4. 今後の見通し

本件による平成29年12月期業績予想への影響は現在精査中であり、詳細が確定次第、改めてお知らせいたします。

以 上